

■一条天皇 66代天皇。藤原道長の全盛期を象徴。

いちじょうてんのう

・・・・・・ 980＝ 東三条殿で、円融天皇の皇子に誕生。母は、藤原兼家の娘詮子。親王宣下を受け、名を懐仁と定める。

・・・・・・ 982＝ 2歳： 円融天皇に参観。
藤原兼家の陰謀で、

永観荘園整理 984＝ 4歳： 円融天皇が退位させられ、花山天皇が即位。皇太子に立てられる。
兼家の専横が進み、

花山天皇出家 986＝ 6歳： ***花山天皇が出家させられ、史上最年少(皇太子が年上)で即位。読書始で生涯にわたる学識研鑽始まる。**

・・・・・・ 987＝ 7歳： 母詮子と離れたためか、初めての発病。新制発布始める。石清水八幡宮を最初に神社行幸始まる。

尾張百姓訴え 988＝ 8歳： 奢侈を禁ずる。この頃から父円融院が人事介入し始め、兼家の専横に抵抗。

尾張国守罷免 989＝ **9歳**： 病が続き安倍晴明が占い。兼家権勢示す春日社行幸で、174年ぶりで生涯唯一の天皇山城国外出。殿上御遊
で、笛の才能を発揮。この年、ハレー彗星や猛台風など怪異続く。

藤原定子入内 990＝10歳： 元服。度々、発病。この年、***兼家が死去して摂政となった道隆の娘定子が中宮となる。**

女院号始・・ 991＝11歳： 発病した母詮子のもとに行幸。この年、円融院が死去し詮子落飾するも、道隆が強引に女院に。

・・・・・・ 993＝13歳： 47年ぶりに復興で生涯唯一の朝賀。発病。初の官奏御覧。除目。流行で疱瘡に。初の大原野社行幸。

・・・・・・ 994＝14歳： この年、権力争いで内裏への放火頻発し始める一方、藤原四卿死去以来の疱瘡大流行で要人死去相次ぎ、

疫病大流行・ 995＝15歳： 政権が大転換(長徳の変)、詮子側の道長に23年ぶりとなる内覧宣旨したが、以後、圧力を受け続ける。

花山法皇事件 996＝16歳： **道隆の子伊周・隆家が完全に失脚し、定子も落飾したが、第一子の皇女脩子を出産。元子が入内。**

・・・・・・ 997＝17歳： 花山院を囲ませる。詮子発病で行幸。

・・・・・・ 998＝**18歳**： 詮子の後院別当推挙を拒絶。道長の出家を許さず。疱瘡に罹り、また発病。

藤原彰子入内 999＝19歳： 詮子発病で行幸。内裏焼亡で一条院に遷御。新制十一箇条。怪異続きに、宮中で誕生した子猫に叙爵の儀式
。***なお寵愛し続けた定子が皇子敦康を出産。抵抗するも母詮の説得で、彰子も立后。心労で眼病に。**

二后並立・・ 1000＝20歳： 敦康を親王とする。新造内裏に遷御。道長の奏上許さず。**皇女？子出産した定子が死去。**

枕草子・・ 1001＝21歳： 内裏焼亡で一条院に遷御。殺害事件に細部まで指示。最後の新制発布。**母詮子が死去。**

・・・・・・ 1002＝22歳： 天皇父母とも亡くなったため、齟齬あるも道長と連携しての政治を始める。発病。

・・・・・・ 1003＝23歳： 発病。新造内裏に遷御。

和泉式部日記 1004＝24歳： 脩子内親王に対面。炎早続で雨乞い、文化興隆政策に乗出す。内裏焚次で藤壺に渡御、最後の笛。発病。

・・・・・・ 1005＝25歳： 発病。密々に渡御。内裏焼亡で神鏡焼損のなか、彰子と危うく脱出し、東三条殿に遷御。

・・・・・・ 1006＝26歳： 一条院に遷御。平惟衡人事で道長と衝突。道長邸に行幸し、競馬を御覧。

・・・・・・ 1007＝**27歳**： 発病。**彰子がようやく懐妊し、**

源氏物語始・ 1008＝28歳： 花山院死去。紫式部の「源氏物語」読みの確評価。宮中に引剥が押入る。**皇子敦成が誕生。**

・・・・・・ 1009＝29歳： 内裏焼亡で枇杷殿に遷御。**彰子呪詛事件等で、重病となる。続いて皇子敦良が誕生したが、**

・・・・・・ 1010＝30歳： 御祈の為、行成を石山寺に遣す。新造一条院内裏に遷御。**なお、道長との関係は微妙なまま、**

・・・・・・ 1011＝31歳： 中宮に渡御後、発病。***讓位し出家後、崩御した。**